

平成27年教育委員会 第10回定例会

- 日 時 平成27年10月29日(木) 13時30分
- 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室
- 出席委員 末永委員長、笹谷委員、小澤委員、荒田委員、上林教育長
- 欠席委員 なし
- 出席職員 教育部次長、教育部副参事、指導室長、指導室主幹、教育部主幹(適正配置担当)、教育総務課長、施設管理課長、学校教育課長、学校給食センター副所長、生涯学習課長、生涯スポーツ課長、美術館副館長、教育総務課総務係長
- 傍聴人 なし
- 開 会 13時30分 (休憩 14時16分～14時20分) 閉 会 14時36分

議 案 第1号 小樽市学校給食センター運営委員会委員の委嘱案

議 案 第2号 市立小樽文学館審議会委員の任命案

議 案 第3号 市立小樽美術館協議会委員の任命案

議 案 第4号 市立小樽美術館資料収蔵委員会委員の委嘱案

議 案 第5号 小樽市文化財審議会委員の委嘱案

・事務局説明

議案第1号から議案第5号について、いずれも任期満了に伴う委員の変更である旨の説明を行う。

・全委員一致により決定した。

報 告 第1号 小中学校の学校再編について

・事務局説明

9月24日招集の教育委員会第9回定例会以降に開催した統合協議会等についての報告を行う。

9月24日開催の花園小学校・入船小学校「第1回統合協議会」において、①統合協議会設置要綱の決定、②会長、副会長の選出、③「学校づくり部会」、「学校支援部会」の設置について了承された。

9月29日開催の緑小学校・最上小学校・入船小学校「第1回統合協議会」、9月30日開催の入船小学校・奥沢小学校・天神小学校「第1回統合協議会」において、それぞれ①統合協議会設置要綱の決定、②会長、副会長の選出、③「校名・校歌・校章に関する部会」、「学校づくり部会」、「学校支援部会」の設置について了承された。

9月25日開催の手宮地区統合小学校「第7回統合協議会」において、各部会からそれぞれ協議概要の報告があり、①校歌の歌詞及び校章デザインは公募、作曲は適任者へ依頼する部会案が了承され、②新しい学校づくりについてまとめた部会案が了承された。

また、10月26日開催の同協議会「第5回学校づくり部会」において、手宮中央小学校の家庭学習や学習のきまり、平成28年度の通知表について協議し、部会案をまとめた。

10月8日開催の塩谷中学校・長橋中学校統合協議会「第5回学校づくり部会」において、

①生徒の事前交流についての報告、②統合校の教育目標、特色ある教育活動等の方向性を協議し、部会案をまとめた。

10月13日開催の北山中学校・末広中学校「第4回統合協議会」において、各部会からそれぞれ協議概要の報告があり、①統合校のグランドデザインについて部会案が了承され、②校名候補の選考については、部会で150点の応募の中から絞った「北小樽」、「北陵」、「凌北」の3点を校名候補として教育委員会へ報告することとした。

・委員意見・質問

応募の結果、最多であった「手宮」を候補からはずした理由についての質問。

・事務局答弁

校区は手宮のみならず、高島、赤岩、祝津にまたがる広いエリアであり、「手宮」ではなく、全ての地域を網羅する「北小樽」という名称が適切ではないかと部会が判断した旨、答弁する。

・全委員が了承した。

議案 第6号 北山中学校と末広中学校の統合校の校名決定及び小樽市立学校設置条例の一部改正の依頼について

・事務局説明

北山中学校・末広中学校統合協議会の協議結果を踏まえ、北山中学校と末広中学校の統合校の校名を小樽市立「北小樽中学校」、「北陵中学校」、「凌北中学校」の3案から決定し、小樽市立学校設置条例の一部改正を小樽市長に依頼したい旨の説明を行う。

・委員意見・質問

①「凌」の字は当用漢字ではないので、一般的に広く使われ、小中学生になじみのある漢字を使った校名がよいのではないかとの意見。

②票数によらず3案が候補となったことについての質問。

③字は違うが読みが同じである陵北中学校が札幌市にあることについて、話題にならなかったのか、また、部会での協議内容の詳細についての質問。

④「北小樽」のような小樽の前に東西南北が付く校名に決定すれば、今後の統合校名を決める際に困るのではないか、との意見。

⑤他の委員の意見も踏まえると「北陵」がよいのではないか、との意見。

⑥「小樽市立北小樽」と小樽が2つ重なり、語感があまりよくない、との意見。

・事務局答弁

①道内でも「凌」が使われている学校が複数あり、問題はないと部会が判断した旨、答弁する。

②募集した校名案の中から統合協議会で校名候補を決定するという流れで進めており、校名案に込められた思いも加味しながら、たとえ少数でもふさわしいものであれば候補としている旨、答弁する。

③札幌市の陵北中学校についての話題は特になかったこと、また、校名候補の選定作業は、150点の中から委員11名が推薦した15点に絞り、さらに協議の上、推薦が多かった3点である、地域を総称する「北小樽」、地形・地域性を組み合わせた「北陵」、グランドデザインにある「全く新しい学校づくりを進める」にかなう「凌北」が最終的に候補となった旨、

答弁する。

- ・全体の議論を踏まえ、全委員一致により「小樽市立北陵中学校」と決定した。

報 告 第 2 号 いじめ防止キャンペーンの実施について

- ・事務局答弁

本年度のいじめ防止キャンペーンに関し、市教委、各学校の取組について報告する。

- ・委員意見・質問

- ①いじめサミットについて、昨年同様いじめ全般がテーマになるのかとの質問。
- ②今年はいじめサミットは、子どもたちが自由に発言できる場にしてほしい旨の要望。

- ・事務局答弁

- ①今年はいじめモラルに絞る予定である旨、答弁する。

- ・全委員が了承した。

報 告 第 3 号 インターネット利用等に関する今後の取組について

- ・事務局説明

本市児童生徒の長時間のインターネット等利用が子どもたちの生活習慣に影響を及ぼしている問題で、今後、各校の児童会・生徒会、PTA等の意見を取り入れながら、本市のインターネット利用等のルールを決定し、公表する予定である旨、工程やスケジュールとともに報告する。

- ・委員意見・質問

道内他都市で同様の動きがあるかとの質問。

- ・事務局答弁

調べた限りでは事例はなかった旨、答弁する。

- ・全委員が了承した。

その他

寄附採納について

- ・事務局説明

美術館の施設整備のため100万円相当のパッケージエアコン及び工事一式、桜町中学校の教育充実のため50万円相当のテレビとテレビスタンド4セット、奨学生のために10万円、稲穂小学校の設備充実のため約88万円相当のデジタル印刷機等一式、中学校吹奏楽部の活動支援のため市内4校へ約214万円相当の楽器、不登校児童生徒への支援のため10万円相当の知育教材一式の寄附があったことを報告する。

(非公開で審議)

協 議 第 1 号 平成 2 7 年度教育費補正予算について

- ・事務局説明

平成27年度教育費補正予算について説明を行い、全委員による協議が行われた。

議案 第7号 平成28年秋の叙勲候補者の推薦案

- ・事務局説明

平成28年秋の叙勲候補者の推薦案について説明を行い、全委員一致により決定した。

議案 第8号 学校職員の処分内申について

- ・事務局説明

学校職員の処分内申について説明を行い、全委員一致により決定した。

(非公開の審議を終了)